



新しい学級、新しい友達、新しい先生、4月は出会いの月です。緊張しているとは思いますが、この出会いを大切にしてください。出会いは「縁(えん)」です。何十億という人類がいる中で出会ったことは奇跡であり、「縁」です。さあ、心新たに新しい気持ち、やる気で新学期をスタートさせましょう!

人は、自分だけで生きているわけではありません。

さまざまな人との出会いやつながりの中で生きており、その中で一見、偶然に見える重要な出来事や出会いももたらされるのです。

さまざまな人とのつながりて起きる出来事や出会いに心を開いて生きる—これは「縁(えん)」を大切に生きる生き方と言ってもいいでしょう。

それが、あなたを幸福や成功に導いてくれるのです。

生きていくということは誰かと関わること。

人は孤独だが、誰かの存在なくして生きていくことはできない。人は人を必要としている。誰かがあなたを必要としている。

だから、幸せになろうと思うのであれば、人との関わり抜きに、幸せを見つけることはできない。

幸せは人との関わりの中に見つかる。人生で与えられる「縁(えん)・出会い」に心を開いていれば、チャンスは与えられる。

予期しなかった偶然の出会い、偶然の出来事。それらがあなたを思いもしなかった道へ導く。

それは誰かがあなたの人生にもたらす「縁(えん)・出会い」の結果。自分一人だけでは、決して見つからなかった世界がそこにある。

幸せになりたいと思うなら、「縁(えん)・出会い」にはいつも、心を開いておこう。

出典 『偶然をチャンスに変える生き方』(ダイヤモンド社、2009年) 一部改

### ある先生と生徒の物語

(先生たちは君たち生徒が「宝物」です。ぜひ、読んでみてください)

先生が5年生の担任になった時、一人服装が不潔でだらしく、どうしても好きになれない少年がいた。

中間記録に先生は、少年の悪いところばかりを記入するようになっていた。

ある時、少年の1年生の記録が目にとまった。

「朗らかで、友達が好きで、人にも親切。勉強も良く出来、将来が楽しみ」とある。間違いだ。

他の子の記録に違いない。先生はそう思った。

2年生になると「母親が病気で世話をしなければならず、時々遅刻する」と書かれていた。

3年生では「母親の病気が悪くなり疲れていて、教室で居眠りする」

後半の記録には「母親が死亡。希望を失い、悲しんでいる」とあり、

4年生になると「父は生きる意欲を失い、アルコール依存症となり、子供に暴力を振るう。」

先生の胸に激しい痛みが走った。

ダメと決め付けていた子が突然、悲しみを生き抜いている生身の人間として、自分の前に立ち現れてきたのだ。

放課後、先生は少年に声をかけた。

「先生は夕方まで教室で仕事をするから、あなたも勉強していかない?分からないところは教えてあげるから」

少年は初めて笑顔を見せた。

それから毎日、少年は教室の自分の机で予習復習を熱心に続けた。

授業で、少年が初めて手を上げたとき、先生に大きな喜びが沸き起こった。

少年は自信を持ち始めていた。

クリスマスの午後だった。

少年が小さな包みを先生の胸に押し付けてきた。

後であけてみると、香水の瓶だった。

亡くなったお母さんが使っていた物にちがいない。

先生はその一滴をつけ、夕暮れに少年の家を訪ねた。

雑然とした部屋で独り本を読んでいた少年は、気がつくとも飛んできて、先生の胸に顔を埋めて叫んだ。

「ああ、お母さんの匂い!今日は素敵なクリスマスだ」

6年生では少年の担任ではなくなった。

卒業の時、先生に少年から1枚のカードが届いた。

「先生は僕のお母さんのようです。そして今まで出会った中で一番素晴らしい先生でした。」

それから6年、またカードが届いた。

「明日は高校の卒業式です。僕は5年生で先生に担当してもらって、とても幸せでした。おかげで奨学金をもらって医学部に進学することが出来ます。」

10年を経て、またカードがきた。

そこには先生に出会えた事への感謝と、父親に叩かれた体験があるから患者の痛みが分かる医者になれると記され、こう締めくくられていた。

「僕はよく5年生のときの先生を思い出します。あのまま駄目になってしまう僕を救って下さった先生を神様のように感じます。医者になった僕にとって最高の先生は5年生の時に担任して下さいました先生です」

そして1年。

届いたカードは結婚式の招待状だった。

「母の席に座って下さい」と一行、書きそえられていた。

たった1年間の担任の先生との縁。その縁に少年は無限の光を見出し、それをよりどころとして、それからの人生を生きた。ここにこの少年の素晴しさがある。

人は誰でも縁の中に生きている。無数の縁に生まれ、人はその人生を开花させてゆく。大事なものは、与えられた縁をどう生かすかである。

